

社会を明るくする運動内閣総理大臣メッセージを京都市長へ伝達するため、令和2年8月4日、京都市役所を訪問しました。

その模様が門川大作市長のフェイスブックにて公開されております。



門川大作

6日前 · 公開

【犯罪や非行の無い明るい社会に！市民ぐるみの取組により着実な成果！京都市保護司会連絡協議会(大橋憲宏会長)、京都保護観察所(横地環所長)の皆さんがお越しに。内閣総理大臣メッセージを伝達いただき、懇談。ご尽力の全ての皆さんに敬意と感謝】

罪を犯した人の立ち直り・社会復帰、青少年の犯罪予防や健全育成のため、深い人間愛を持って献身的にご尽力。

地域ぐるみで「社会を明るくする運動」をご展開(京都市推進委員会の委員長を私が務めます。)、例年であれば、更生保護関係者を対象とした式典を開催、京都鑑別所長から内閣総理大臣メッセージを委員長に伝達、市役所前までの啓発パレードを実施していますが、今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため式典・パレードを中止。本日、京都市保護司会連絡協議会から大橋会長、梶村副会長、升光副会長、万蔵事務局長に、京都保護観察所から横地所長、河本統括保護観察官、田中保護観察官にお越しいただき、横地所長から、内閣総理大臣メッセージを伝達いただきました。皆さんの尊いご奉仕、ご活動に敬意と感謝。

京都市では、京都府警と協定を締結し、市民ぐるみで「世界一安心安全・おもてなしのまち京都」推進運動を展開し、市内の犯罪件数は、ピーク時(2004年)から75%減、協定締結前(2013年)から6年間で5割減の10,405件に！一方で、再犯率の高さは社会的な課題。罪を犯した方を地域で温かく見守り、立ち直りを支援する「社会を明るくする運動」は益々重要に！平成30年4月に再犯防止対策検討プロジェクトチームを庁内に設置、今年2月には「京都市再犯防止推進会議」を設置し、梶村副会長や河本統括にも委員にご就任いただいています。

犯罪防止・刑事司法分野の国連最大の国際会議「京都コンgres」は来年3月の開催が決定(当初は今年4月に開催予定、新型コロナウイルスの影響で延期)。「誰ひとり取り残さない」SDGsの「平和と公正をすべての人に」等の目標も見据え、皆さんと共に、再犯防止の取組をはじめ、誰もが安心安全に暮らせるまちづくりにまい進します。表示を縮小

112

コメント1件 シェア2件